



でたん
2022.02.19
実演134回目

- 1999 雲の上
- 2000 帰り道
- 2000 影踏み
- 2003 道なり
- 2015 手のなる方へ 2.0
- 2021 あの日

雲の上

突然君は いなくなつて
雲の上で 暮らすという
もっ何も 覚えてなくて
毎日毎日ではない

昨日の事も 今日の記事も
明日の記事も 定かではない

突然君は 子供になつて
雲の上で 遊ぶという
もっ何も 判らなくて
僕達を思い出しそつにない

昨日の事も 今日の記事も
明日の記事も 意味は持たない

もっ何も 覚えてなくて
毎日毎日ではない

昨日の事も 今日の記事も
明日の記事も 定かではない

やつと帰つてきたら
雲の上で 暮らさう
やつと帰つてきたら
雲の上で 飛ばそう

帰り道

丘のような山のような
長い下り坂を君と歩くことにした
きつともう帰り道
ゆっくりとそこへ向かおう

海のような空のような
広いこの街で君と暮らすことにした
すぐにもう帰り道
ゆっくりと目を開けよう

迷つても見失わぬように
君の顔のかたちを覚えて
迷つても見失わぬように

夢のような熱のような
長いこの病を君と過ごすことにした
今はもう帰り道
ゆっくり君と過ごさう

迷つても見失わぬように
君の手のかたちを覚えて
迷つても見失わぬように

影踏み

意味の無い踊り場で
燃え尽きる世界
空回りそこら中
誰の声も聞かず

昨日までの夢の続きも
忘れる為だけの事
戸惑いと小細工と
欲望と暮らしてる

目の前を通り過ぎる
それだけの世界
逆らわず目は伏せる
それだけの世界

生きていたはずなのに
それはそれだけのこと
あきらめと日和見と
絶望と暮らしてる

長くなる影を踏む
眠くない世界
長くなる影を踏む
悪くない世界

道なり

「ウモリが空を飛ばす
青色が紺になる
夕方のにおいがする
もう家に帰ろうかな」

道なりに まっすぐに
歩いていこう 淡々と
そつすれば 家に着く

道行く人は皆
家路を急いでる

夜の風 風が吹く
自転車が通り過ぎる

道なりに まっすぐに
歩いていこう ゆっくりと
そのうちに 家に着く

手のなる方へ 2.0

寒い春の日思い出すよ 君のこと
変なおじさんを酔いながら眺めたね

全ては上手くいってると言う嘘
大丈夫だ あつて言い合つて
幸せが ってるけど不幸せそう

酌み交わさう 今夜はリモートで
語り合おう ラインに乗せて
人を思つたら手を洗おう そつ世界は
手を洗う方へしか 行かないよ

暑い梅雨の日思い出すよ 君のこと
誰も居ない町を 画面越しに眺めたね

全ては嘘ばかりと言う嘘
眉間に皺を寄せあつて
不幸が ってるけど不幸せそう

さあ歌おう 肩は組まずに
さあ踊らう 距離を離して
人を思つたら手を洗おう そつ世界は
手を洗う方へしか行かないよ

さあ手を洗おう
さあ手を洗おう
人を思つたら手を洗おう そつ世界は
手を洗う方へしか行かないよ

あの日

あの日何もなければ 今日に来ていない
その日何をしたらか ある日忘れてく

その日いつか来るのさ 今日はまだ終わる
あの日何をしたらか 今日が変わったか

ずっとわかってたような なんかに笑つてたような
みんなあの日はなんだか よくなつていくような
気がしたんだよ

あの日何があつても 今日には変わらない
その日何をしたらか ある日忘れてく

ずっと知っていたような 何か気になつてたような
みんな何故だかあの日も もう戻らないなんて
軽く言つたんだよ

ゆっくりしていたら びっくりしていたら
うっかりしていたら 懐かしいなんて
懐かしい 懐かしい なんて

でたんの次回ライブは 2022年4月 碑文谷APIA40にて。